実施	平成26年度

事務事業事後評価表

《基本情報》				
事務事業の名称	玉名中央学校給食セ -		担当課 [2]	教育総務課
[1]			評価者(担当者)	徳永 慎二
	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		重点 施策 [4]
総合計画での位置付け	主要施策(節)	(1)学校教育の充実		
[3]	施策区分	(2)生きる力を身につける教育の推進		☑該当
実施の根拠			度予定 : 金額	千円】
(複数回答可)		等【学校給食法、玉名市学校給食セ]
[5]		玉名市食育推進計画、玉名市教育技	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□該当なし
事業区分	☑ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設・整備	事業 □施設σ)維持管理事業
[6]	□内部管理事務	□計画等の策定事務		
会計区分 [7]	☑ 一般会計 □	特別·企業会計【	】 款 10	項 1 目 4 細目 1
《事務事業の目的》	»			
事務事業の実施背景		と、経済的困窮と食料不足から児童・生徒		
(どのような問題又は		E徒を対象として事業を開始した。また、現 肪の過剰摂取の偏った栄養摂取の問題等		
ニーズがあるのか)[8]		養バランスのとれた食事を提供することが		
対象(誰、何に対して) 【9】	小・中学校の児童・生	徒、学校給食		
意図(どのような状態に したいのか) 【10】		き養バランスのとれた食事を提供し、, させ、望ましい人間関係の育成を図り		
《事務事業の概要》	»			
事業期間	□単年度のみ	☑ 単年度繰返し	□ 期間限定複数	[年度
争未粉间 【11】	【 年度】	【 H17 年度から】	【 年度~	・年度まで】
事業主体 [12]	□国□県	☑市 □民間	□ その他【	1
実施方法 [13]	□直営□全部	部委託 🔽 一部委託 🔲 補耳	助金等交付 □ その	の他【 】
		交4校、町小(米飯のみ)の献立作	事務事業を構	成する細事業 [15]
	成、食材発注	又、調理、配送、食器・食缶・コンテナ	① 調理、配送	<u> </u>
本本本本の日本も中	(未防安乱一段的快机	※、調理、配込、及品・及山・コン))	② 施設管理:	業務
事務事業の具体的内容	②施設維持管理(委託	f契約、修繕契約、燃料·消耗品発	③ 学校給食	運営委員会開催業務
[14]	注) ③学校給食運営委員	会開催(年2回)	④ 食育指導	業務
	4小学校12校、中学村		5	

《事務事業実施に係るコスト》

《 事物 事未 大心に 你 る コ ス ド ル									
					H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画
	事	国庫支出金		%					
	業	県支出金		%					
	費	起債		%					
+ 7 ъ	~ 千	受益者負担							
投 入	円	その他							
⊐	\sim	一般財源			106,486	107,083	108,026	108,899	
スト		[16] 小 計	-		106,486	107,083	108,026	108,899	0
1.		[再掲]臨時·非常勤職員人作	‡費(·	千円)	0	0	0	0	
	職人	職員人工数			0.60	0.60	0.60	0.60	
	員件	職員の年間平均給与額	額(日	F円)	5,685	5,610	5,610	5,610	
	の費	【17】 小 計			3,411	3,366	3,366	3,366	
<u></u> 숨 計			109,897	110,449	111,392	112,265			

≪事務事業の手段と活動指標≫[18]

事	務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
1	調理、配送業務	学校給食の提供	給食提供回数	口	小学校190 中学校185	小学校190 中学校187	小学校190 中学校187	小学校190 中学校187
2	施設管理業務		施設整備の修繕件 数	件	39	32	24	20
3	学校給食運営委員会開 催業務		開催回数	回	2	2	2	2
4	食育指導業務	各学校に出向いての食育指 導、講話	指導回数	回	32	24	23	27
(5)								

≪事務事業の成果≫[19]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
	八木相保(息凶の数値化)	日 昇力 広入は 説明		H23実績	H24実績	H25実績	
1	給食満足度	学校給食評価アンケートによる点数(5点満点)	点	4.50	4.50	4.50	4.50
	和			4.48	4.43	4.39	
2	食育指導人数	食育指導を受けた児童・生徒数		2,700	4,000	4,000	4,000
2	及月拍等八数	長月拍得を支げた元里・土促数		4,520	3,850	3,200	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	□ 問題あり☑ 問題なし	学校給食を通して食に関する知識を
性		税金を使って達成する目的か。また、役割が 薄れていないか。	□ 問題あり☑ 問題なし	身につけさせ、望ましい食習慣を形成 - させることが大切であり、生きた食材で ある学校給食の役割は大きく、児童・生
〈判定〉 A	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる 等の影響があるか。	✓ 影響あり✓ 影響なし	はへの影響が大きい。 ・
有効	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	」 達成☑ 未達成	┃ ┃ ┃ ┃ 学校給食評価アンケートの結果、給
性	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	✓ 余地あり □ 余地なし	食センターの評価が低かった。給食センターの対応について今まで以上に迅
〈判定〉 C	上位施策への貢献度	上位施策の目的達成に貢献しているか。	✓ +分✓ 不+分	「速な対応を行う必要がある。 - -
4.1	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地 はないか。	□ 余地あり ☑ 余地なし	-
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ 以上検討の余地はないか。	□ 余地あり ☑ 余地なし	- - - 学校規模・配置適正化と自校式給食施
.—	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	 余地あり 余地なし	設の廃止等に伴い検討の余地がある。
〈判定〉 B	古类なみの合地	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	✓ 余地あり □ 余地なし	<u></u>
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地は ないか。また、対象、負担額等は適切か。	 余地あり 余地なし	-

《今後の方向性と改善》

	今後の方向性 [31]	□ 拡充して継続 □ 現状のまま継続 □ 縮小を検討 □ 休止・廃止を検討 □ 細事業の効率化【□ 改善・見直し □ 民間活用 □ 他事業と統合 □ 廃止 】
		食育への関心が高まる中、本事務事業は重要な役割を担っており、引き続きその内容の充実に努める必要がある。
昨	年からの見直し・改善状況 【32】	特になし

■評価責任者記入欄■